

I.2. 大学院生の研究業績

<言語文化専攻>

博士前期課程

博士前期課程 1 年

浅野 真菜

口頭発表：

- ・ Rhetorical Imperatives の生起条件 (On the Conditions of Rhetorical Imperatives) 日本英語学会第 36 回大会 (横浜国立大学, 神奈川) . 2018 年 11 月 24 日 (井原駿氏との共同研究)

博士前期課程 1 年

岡田 茉弓

その他：

- ・ 大阪大学未来戦略機構第一部門博士課程超域イノベーションプログラム所属

博士前期課程 1 年

岡部 未希

口頭発表：

- ・ 「Emily Dickinson の詩における二人称代名詞の使用について」 第 119 回人文学とコンピュータ研究会発表会 (大阪大学) 2019 年 2 月 16 日 .
- ・ 「Emily Dickinson の詩における Thou と You -感嘆詞に着目して-」 言語研究と統計 2019 (統計数理研究所) 2019 年 3 月 20 日 .
- ・ “Thou & You in Emily Dickinson Poems: Focusing on interjections” Corpus Stylistics Forum with Emerging Scholars (大阪大学) 2019 年 3 月 27 日 .

博士前期課程 1 年

下田 一成

口頭発表：

- ・「メディアの創造する甲子園の「物語」に関する研究－夏の甲子園大会における朝日新聞の社説の分析を中心に－」大阪大学言語文化学会第54回大会（大阪大学）
2018年10月27日.

博士前期課程1年

田尾 俊輔

その他：

- ・『『ことば』から人間に迫る－言語学とは何か？－』『新入生のための学びガイド 阪大×学問』（大阪大学全学教育推進機構ガイダンス室学生支援プロジェクト）2019年2月28日。（トピック執筆および編集担当）
- ・リーディングプログラム「大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム」所属（2018年度本履修生，2018年10月～）
- ・高度副プログラム「大阪大学未来の大学教員養成プログラム（FFP）」受講（2018年4月～）

博士前期課程2年

石倉 綾乃

口頭発表：

- ・「爆発する糞便：Salman RushdieのMidnight's Childrenにおける摂食と排泄のエコノミー」日本英文学会関西支部第13回大会（神戸女学院大学）2018年12月8日.

博士前期課程2年

大谷 修樹

口頭発表：

- ・”On the Scope Interpretation of a Null Disjunctive Phrase in Japanese” The 27th edition of the Conference of the Student Organization of Linguistics in Europe XXVII (Humboldt-Universität zu Berlin). 2018年2月23日

博士前期課程 2 年

児島 麦穂

口頭発表：

- ・「笑いの相互行為性—多人数会話における不均衡状態から笑いの共有に至るプロセス—」第 43 回社会言語科学学会大会（筑波大学筑波キャンパス）2019 年 3 月 17 日.

博士前期課程 2 年

徐 玉

口頭発表：

- ・「増村保造の映画『卍』におけるレズビアン表象—谷崎潤一郎の原作小説との比較から」大阪大学言語文化学会第 54 回大会（大阪大学）2018 年 10 月 27 日.

博士前期課程 2 年

中川 佳保

ポスター発表：

- ・「人はことばによっていかに傷つくか—ディスコダンスの観点から」日本語用論学会第 21 回大会（杏林大学）2018 年 12 月 1 日

その他：

- ・平成 30 年度大阪大学博士課程教育リーディングプログラム独創的教育研究活動費採択
- ・「武黒麻紀子『相互行為におけるディスコダンス—言語人類学からみた不一致・不調和・葛藤』『未来共生学』第 6 号（大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構未来共生イノベーター博士課程プログラム部門）pp. 423-425. 2018 年 3 月

博士後期課程

博士後期課程 1 年

王 一瓊

論文：

- ・「中国にルーツを持つ高校生と教師のコミュニケーション -教科内容に関するコミュニケーションの諸相について-」『未来共生学』(6) . pp. 225-244. 2019年3月.
- ・「外国人生徒を『特別扱いする学校文化』の形成に関する考察 -大阪府立特別枠校の事例から-」『未来共生学』(6). pp. 297-325. (伊藤莉央氏、林貴哉氏、山本晃輔氏との共同研究) 2019年3月.

口頭発表：

- ・「日本高校における中国にルーツを持つ生徒と教師のコミュニケーション -教科内容に関する生徒への母語配慮-」2018年度日本語教育と日本学研究国際シンポジウム（同済大学）2018年5月.
- ・「一般教科の授業での外国にルーツを持つ生徒の母語使用の実態と課題 -中国にルーツを持つ生徒を例に-」母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会 2018年度研究大会（国際基督教大学）2018年8月.
- ・「ニューカマー特別枠校の変容と課題 -大阪府の事例から-」日本教育社会学会第70回大会（仏教大学）(榎井縁氏、棚田洋平氏、林貴哉氏、石川朝子氏、今井貴代子氏、比嘉康則氏、山本晃輔氏との共同研究) 2018年9月.

その他：

- ・平成30年度未来共生イノベーター博士課程プログラム独創的な教育研究活動経費獲得

博士後期課程1年

小倉 永慈

論文：

- ・“A Sense of Wonder: Gregory Bateson and Glenn Gould in Richard Powers’ s The Gold Bug Variations” , New Perspective, 新英米文学会, 207, pp. 64-76, 2018年7月15日.

口頭発表：

- ・〈パネル〉『グローバルな「移動」をめぐって——アメリカとブルージーンズ・東欧の移民・広島の記事』, 発表担当「ブルージーンズのアメリカ的な移動——John Steinbeck, Jack Kerouac, Miroslav Penkov」カルチュラル・スタディーズ学会, カルチュラル・タイフーン 2018, 京都, 2018年6月23日.

博士後期課程 1 年

野瀬 由季子

論文：

- ・「大学の日本語教員養成課程科目でアクティブ・ラーニングを促す学習環境」『日本教育工学会研究会 18-2 研究報告集』 pp. 51-56. 2018 年 5 月（査読なし）
- ・「大学教育における教育実践研究の類型化」『日本教育工学会研究会 18-3 研究報告集』 pp. 109-112. 2018 年 7 月（査読なし） ※筆頭者：大山牧子先生（大山牧子先生，根岸千悠先生との共同研究）
- ・「現職の日本語教師研修における事前活動シートの使用が授業観察制度の活動過程に与える影響」『日本教育工学会研究会 19-1 研究報告集』 pp. 585-592. 2019 年 3 月（査読なし）

ポスター発表：

- ・“Fostering a community of practice in a Japanese Language Teacher Training Course”
The 3rd International PLL Conference, Tokyo, Japan, June 2018

口頭発表：

- ・「国内の大学における日本語教員養成課程の位置付けに関する実態調査」日本教育工学会第 34 回全国大会，東北大学，2018 年 9 月
- ・「組織の中で行われる OJT 方式の日本語教師研修の内実—授業観察制度に着目して—」第 29 回土曜の会（現職教師を対象とした公開研究会），関西学院大学梅田キャンパス，2019 年 2 月
- ・「オブザーブ制度における指導者側と授業者側の相互行為分析—現職日本語教師を対象として—」日本語教育学会 2018 年度関西支部集会（交流ひろば出展），武庫川女子大学，2019 年 3 月 23 日（予定）
- ・「日本語教育の授業観察制度において指導者が授業者に与える影響—現職日本語教師へのインタビュー調査から—」第 25 回大学教育研究フォーラム，京都大学，2019 年 3 月 24 日（予定）

博士後期課程 1 年

林 貴哉

論文：

- ・「ベトナム人集住地域における複数言語の使用と学習に関する研究—日本に定住した中国系ベトナム難民のライフストーリーから」『言語文化教育研究』（言語文化教育研究会）第 16 巻, pp. 136 - 156. 2018 年 12 月.
- ・「外国人生徒を「特別扱いする学校文化」の形成に関する考察—大阪府立特別枠校の事例から」『未来共生学』（大阪大学国際共創大学院学位プログラム推進機構未来共生イノベーター博士課程プログラム部門）第 6 号, pp. 10-21. 2019 年 3 月. (共著：伊藤莉央・王一瓊・林貴哉・山本晃輔)

口頭発表：

- ・「ニューカマー特別枠校の変容と課題：大阪府の事例から」日本教育社会学会第 70 回大会（佛教大学紫野キャンパス）2018 年 9 月 3 日.（共同発表：榎井縁・棚田洋平・林貴哉・王一瓊・石川朝子・今井貴代子・比嘉康則・山本晃輔）
- ・「日本語学習に意義を見出せない理由—在日ベトナム難民のケース・スタディから」言語文化教育研究会第 5 回年次大会（早稲田大学早稲田キャンパス）2019 年 3 月 9 日.
- ・「在日ベトナム難民はいかに日本語を学んできたか—教室外の日本語学習に注目して」日本語教育学会 2018 年度第 6 回支部集会（武庫川女子大学）2019 年 3 月 23 日.

その他：

- ・「母語教育の意義を問い直す—ある在日ベトナム難民の言語・文化国家に対する思いから」第 4 回共生学研究会（大阪大学人間科学研究科）2018 年 8 月 2 日.
- ・「“人” から考える言語学習—経験を聞くこと / 書くことを通して」第 4 回阪大院生知の横断（大阪大学豊中キャンパス南部陽一郎ホール）2018 年 11 月 3 日.

博士後期課程 1 年

久次 優子

論文：

- ・「ピア・リーディングにおける知識の相互行為的達成—クリティカル・リーディン

「グ力育成を目指した活動の会話分析」『言語文化教育研究』16（言語文化教育研究会） pp. 177-197. 2018年12月.

博士後期課程2年

浅野 元子

論文：

- ・「ESP 的視点による英語医学論文抄録 Reading 授業の実践報告」Applying an ESP approach to teaching the reading of medical research article abstracts. *Journal of Medical English Education*. 18(1), pp. 37-46. （日本医学英語教育学会）2019年2月
- ・「オンライン学習ツールとしてのサイエンスニュース:ポッドキャストを用いた ESP リスニング授業の実践報告」『専門分野留学を目標とするグローバル人材育成用「ムーブ利用学習」プログラムの構築 A Program for Global Human Resource Development: Using MOOCs for Specialized Study-Abroad Experiences.』（平成28年度～平成30年度科学研究費補助金（基盤研究（C））成果報告書（研究代表者：深山晶子，課題番号16K02906）Report of Current Research Supported by Grants-in-Aid for Scientific Research in 2016-2018 (No. 16K02906)). pp. 87-91. 2019年3月
- ・「日本人著者による英語医学論文のムーブの検討：Nwogu による1997年の研究を踏まえて」田畑智司（編）『統計数理研究所共同研究レポート424 実践計量文体学II：語彙，意味，文体へのアプローチ』[The Institute of statistical mathematics cooperative research report 405 Practical stylometry: Genres, topics, and key words]（統計数理研究所）pp. 11-35. 2019年3月

口頭発表：

- ・ Using science news podcasts for introduction to discipline-specific English-Development of genre awareness envisaging medical research article writing. The 46th Annual EMWA Conference in Barcelona, (Barceló Sants Hotel). May 3, 2018 (Co-presented with Fujieda, M.)
- ・「ESP 的視点による英語医学論文抄録 Reading 授業の実践報告」日本医学英語教育学会学術集会（日本大学生命歯学部）2018年7月29日
- ・「医学英語 Reading 授業実践：ESP とコーパスに基づくアプローチ」英語コーパ

ス学会 ESP SIG 2018 年度第 1 回研究会 (京都駅前会議室) 2018 年 8 月 23 日

- ・「日本の理系大学院生および研究者おける英語学術論文執筆の負担についての質問紙調査」 Quantifying the burden of writing research articles in English: Data from Japanese scientists. 大学英語教育学会第 57 回国際大会 The Japan Association of College English Teachers (JACET) 57th International Convention (東北学院大学) 2018 年 8 月 30 日 (Co-presented with Fujieda, M., & Noguchi, J.)
- ・「国際英語としての日本人英語医学論文における言語的特徴の探索に向けて」 統計数理研究所言語系共同研究グループ夏季研究会 (神戸大学百年記念館) 2018 年 9 月 2 日
- ・「理系のための英語学術文書のコーパス研究—応用言語学からみた医学論文を中心に—ミニ・コーパス (Tissue Engineering (TE) Corpus) の検討」 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 再生組織構築研究部門 生体材料学分野 田畑泰彦教授 研究室セミナー (京都大学ウイルス・再生医科学研究所) 2018 年 10 月 20 日
- ・「日本の英語使用者による医学論文: 専門英語教育 (ESP, English for Specific Purposes) の視点から—導入編—」 日本翻訳者協会 製薬翻訳分科会 (JATPharma) Informal Get Together (大阪駅前第 3 ビル 2 階 63-H 号室) 2018 年 10 月 28 日
- ・ Quantifying the burden of Japanese scientists presenting their research in English. (Southeast Asian Ministers of Education Organization (SEAMEO), Regional Language Centre (RELC)) March, 13, 2019. (Co-presented with Noguchi, J.)
- ・「日本人著者による英語医学論文のムーブの検討: Nwogu による 1997 年の研究を踏まえて」 統計数理研究所言語系共同研究グループ合同発表会 言語研究と統計 2019 (統計数理研究所) 2018 年 3 月 20 日

研究ノート:

- ・ Construction of medical research article corpora with AntCorGen: Pedagogical implications. English Corpus Studies, 25, pp. 101-115. (英語コーパス学会) 2018 年 3 月

博士後期課程 2 年

勝部 三奈子

口頭発表：

- ・「国内の民間日本語学校日本語教師のアイデンティティ ―元同僚とのインタビューの中で協働的に構築される語りからの考察―」言語文化教育研究学会第3回年次大会（関西学院大学）2017年2月25日.

ポスター発表：

- ・「既知の間柄でのインタビューの会話分析」ナラティブ国際シンポジウム（立命館大学）2018年11月17日.
- ・「インタビューにおける成員カテゴリー化の実践―日本語教師/元日本語教師へのインタビュー―」社会言語科学会第43回大会（筑波大学）2019年3月17日.

博士後期課程2年

川村 明日香

論文：

- ・「ディズニー版『白雪姫』のりんごをめぐる物語の変容：「毒」から「かわいい」への変遷」『言語文化共同研究プロジェクト2017 表象と文化 XV』pp.21-32. 2018年5月.

口頭発表：

- ・「プライドランドはどこか：一映画『ライオンキング』のアダプテーションと「場所」の変容―」日本比較文化学会関西支部10月例会（同支社大学）2018年10月27日.

博士後期課程2年

久保 和真

論文：

- ・「ロジャー・フライと視覚芸術の「重さ」――世紀転換期西欧の「触覚」をめぐる言説――」『言語文化共同研究プロジェクト』 pp. .35-44. 2018年5月

口頭発表：

- ・「ウジェーヌ・アジェの語られないプレ・モダン ――「街角の人々」のシリーズを中心に―」大阪大学言語文化学会第54回大会（大阪大学）2018年10月27日

- ・「記録写真の不透明さ——ウジェーヌ・アジェの「黒い縁」をめぐって」表象文化論学会 第13回研究発表集会（山形大学）2018年11月10日
- ・「写真のなかの扉——ウジェーヌ・アジェの「敷居経験」について」日本映像学会写真研究会 2018年度第2回研究発表（京都精華大学）2018年3月24日

博士後期課程2年

趙 洋（チョウ ヨウ）

論文：

- ・「The Metaphorical Use of Flowers in The Age of Innocence」『言語文化共同研究プロジェクト 2017 レトリック、メタファー、ディスコースレトリックと文化の諸相』pp. 119-128. 2018年5月.
- ・「アメリカ小説の日本語訳における女性語増訳の影響要因」『通訳翻訳研究への招待』(20) pp. 43-58. 2019年3月.

口頭発表：

- ・「構築主義のジェンダー観から英文和訳における女性語の増訳を考察する—The Age of Innocence の May の言語使用を中心として—」大阪大学言語文化学会第53回大会（大阪大学）2018年6月28日.
- ・「英文和訳における「増訳」に関する研究—The Great Gatsby の英語原著と日本語訳の比較を通して—」日本通訳翻訳学会第19回大会（関西大学）2018年9月9日.
- ・「英文和訳における女性語の増訳から見られるジェンダー・アイデンティティの変化—The Great Gatsby の Myrtle の階級意識をめぐって—」大阪大学言語文化学会第54回大会（大阪大学）2018年10月27日.
- ・「英文和訳における女性語の増訳される影響要因についての探究」中国日本語教学研究会 2018年度国際シンポジウム（広東外国語外貿大学）2018年11月23日.
- ・「労働者階級から「上流階級」への転換についての考察—英語原著作者の描写と日本語訳者の翻訳の比較を通して—」日本比較文化学会支部総会・関西支部 12月例会（同志社大学）2018年12月22日.

博士後期課程 2 年

野口 雄矢

論文：

- ・“A Revisit of Direct Quotation Clauses in Japanese” 『言語文化共同研究プロジェクト 2017 自然言語への理論的アプローチ』 pp. 61-70. 2018 年 5 月.

口頭発表：

- ・“On so-called kara-subjects in Japanese” 関西言語学会第 43 回大会（甲南大学）2018 年 6 月 10 日.

博士後期課程 3 年

木場 安莉沙

論文：

- ・「メディアにおける性的少数者のセクシュアリティ—その表象と性的イデオロギー—」 『言語文化共同研究プロジェクト 相互行為研究④—談話とイデオロギー』（大阪大学言語文化学会） pp. 49-58. 2018 年 5 月.
- ・「ローカル（出身地）からローカル（居住地）へ—在米日本人の「県民」アイデンティティ—」 『社会言語科学会第 42 回大会発表論文集』 pp. ??-??. 2018 年 8 月.

口頭発表：

- ・「Inside/outside the group: Japanese Americans’ perceptions of selves and others」 Sociolinguistics Symposium22（University of Auckland）2018 年 6 月 27 日.
- ・「ローカル（出身地）からローカル（居住地）へ—在米日本人の「県民」アイデンティティ—」 社会言語科学会第 42 回大会（広島大学）2018 年 9 月 23 日.

博士後期課程 3 年

佐川 祥予

論文：

- ・「日本語学習者による「出会い」に生起する語り — J.S.ブルーナーと M.ブーバーを手がかりに —」 『関係性の教育学』 vol.17, pp. 29-40. 2018 年 6 月.
- ・「語りと自己 — バフチンにおける自他とクロノトpos —」 『多文化社会と留学生

交流 第 23 号』(大阪大学国際教育交流センター研究論集) pp. 1-8. 2019 年 3 月.

口頭発表:

- ・「日本語学習者の語りの様相 — J.S.ブルーナーを手がかりに —」JALT PanSIG 2018 (東洋学園大学) 2018 年 5 月 20 日.
- ・「循環する 2 つの語りと関係性の構築 — 日本語教育の現場から —」大阪大学言語文化学会第 53 回大会 (大阪大学) 2018 年 6 月 28 日.
- ・「日本語学習者の語り — フレーム分析にみる関係性の構築 —」日本教育社会学会第 70 回大会 (佛教大学) 2018 年 9 月 3 日.

博士後期課程 3 年

後藤 秀貴

論文:

- ・「<感情は液体>メタファーの成立基盤と制約 — 概念メタファーの「まだら」をめぐって」『メタファー研究 1』(鍋島弘治朗・楠見孝・内海彰 編) pp. 195-230. 2018 年 7 月. ひつじ書房.
- ・「日英語の頭部の理解をめぐって — 理性・知性の座としての「頭」と head —」『言語文化共同研究プロジェクト 2017 レトリック、メタファー、ディスコース』pp. 29-42. 2018 年 5 月.

口頭発表:

- ・「精神作用を表す「腹」の比喩的意味の広がりについて — 通時的観察と認知言語学的分析 —」大阪大学言語文化学会第 54 回大会 (大阪大学) 2018 年 10 月 27 日.

博士後期課程 3 年

銭 蕾

口頭発表:

- ・「中国におけるヤオイ受容状況 — ノルウェーの青春ドラマを例に —」大阪大学言語文化学会第 54 回大会 (大阪大学) 2018 年 10 月 27 日.

博士後期課程 3 年

野澤 健

論文：

- ・「日本語とアメリカ英語の母語話者による相互の言語の母音 の L1 母音カテゴリーにおける分類」『言語文化共同研究プロジェクト 音声言語の研究』12, pp39-54
2018 年 5 月.

口頭発表：

- ・ The production of American English vowels by native Japanese speakers in two different conditions , 175th Meeting of the Acoustical Society of America 2018 年 5 月 10 日
- ・ 日本語母語話者のアメリカ英語の母音の同定, 弁別における日本語の母音カテゴリー参照について 近畿音声言語研究会 2018 年 6 月 2 日

博士後期課程 3 年

朴 香芸

口頭発表:

- ・「姜文の『太陽の少年』のスタイル—第五世代監督の文革映画との比較を通して—」
日本映画学会第 14 回大会 2018 年 12 月 8 日.

<言語社会専攻>

博士前期課程

博士前期課程 1 年

西村 僚之佑

口頭発表

- ・ 「モンゴル語格語尾 - a a p⁴格の意味用法に関する一考察」大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会 2018 年 6 月 28 日.

博士前期課程 1 年

田所 朱莉

口頭発表：

- ・「Lincoln 大統領暗殺事件に予示された不可逆な関係性—Suzan-Lori Parks の Topdog/Underdog における再定義されゆくアイデンティティ」 日本アメリカ文学会第 57 回全国大会 (実践女子大学) 2018 年 10 月 6 日

博士前期課程 1 年

馬 花力

口頭発表：

- ・「“別…(了)” 结构的意义」2018 年度日本中国語学会関西支部第二回例会 (関西学院大学梅田キャンパス) 2018 年 12 月 16 日

博士前期課程 1 年

劉 相帥

論文：

- ・「中级水平日本学生汉语双音节词声调标注量化分析」『汉字文化圈汉语教学与研究』(河内国家大学出版社) 2018 年 11 月 . pp. 226-233.

口頭発表：

- ・「初级水平日本学习者汉语前后鼻音韵母感知实验研究」第八届东亚华语文教学研究生论坛 (国立台湾师范大学) 2018 年 5 月 26 日
- ・「中级水平日本学生汉语双音节词声调标注量化分析」第三届汉字文化圈汉语教学国际研讨会组委会 (河内国家大学下属外国语大学) 2018 年 12 月 7 日

博士前期課程 2 年

WONG PUI YU JOLIE (黄 沛瑜)

口頭発表：

- ・「剖析報人金庸」第八届东亚华语文教学研究生論壇籌委會 (國立臺灣師範大學) 2018 年 5 月 27 日.
- ・「香港における文革の影響 —六七暴動及び香港映画を例に—」日本現代中国学会 2018 年度全国学術大会 (早稲田大学) 2018 年 10 月 21 日.

博士前期課程 2 年

松宮 正義 (マツミヤ セイギ)

口頭発表 :

- ・「Don DeLillo の Zero K におけるゼロの逆説」大阪大学言語文化学会・言語社会学会秋季合同研究会 (大阪大学) 2018 年 10 月 27 日.

博士前期課程 2 年

宋 新亜

論文 :

- ・「記憶としての旧制高校—郁達夫「茫茫夜」の“同性愛”論争をめぐって」『野草』(中国文芸研究会) 2019 年 3 月 31 日. pp. 43-59.

口頭発表 : ・「反抗としての「沈淪」—「舞姫」から見た郁達夫における“憂鬱症”の意味」大阪大学言語社会学会 (大阪大学) 2018 年 6 月 28 日.

- ・「作为记忆的旧制高校」(中国語) 第八届东亚华语语文教学研究生论坛 (台湾師範大学) 2018 年 5 月 27 日.
- ・「How Can We Find Ourselves in the Age of “Main Melody” –A Perspective form Folk Music」(英語) Crossroads in Cultural Studies 2018, (中国上海大学) 2018 年 8 月 11 日.
- ・「長安城中の少年：清末封建家庭に生れて」中国文芸研究会 自伝・回想録読む会 (関西学院大学梅田キャンパス) 2018 年 11 月 25 日

博士前期課程 2 年

木下 実紀

口頭発表 :

- ・「イランにおける散文受容の流れと『エスファハーンのハージーバーバーの冒険』の翻訳による社会批判」イスラーム・ジェンダー学の未来に向けて「表現への挑戦」若手報告会 1 (東京大学) 2018 年 4 月 5 日.

- ・「ミールザー・ハビーブ・エスファハーニーの『ハージーバーバーの冒険』にみる古典文学の引用とその効果」トルコ文芸文化研究会第7回定例研究会（東京外国語大学）2018年8月19日.
- ・「ミールザー・ハビーブ・エスファハーニーによる翻案作品『ハージーバーバーの冒険』から見る近代批判精神の発露とその展開」中東・イスラーム教育セミナー（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）2018年9月13日.
- ・「ミールザー・ハビーブ・エスファハーニー訳『ハージーバーバーの冒険』に見る翻案手法」イラン研究会（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）2019年3月30日.

その他：

(翻訳と解説) ゴルシーリー, フーシャング (1979) 「オウムの緑、カラスの黒」, 木下実
紀訳『ペルシア語文学通信』(2018) pp.30-37, 東京外国語大学ペルシア語文学会.

博士後期課程

博士後期課程 1年

菊池 泰平

論文：

- ・”Shan Sawbwa’s Requirements in the Independence period or Burma / Myanmar (1945-1947)”
Journal of Tai Studies Vol. 2. (The Centre for Tai Studies: Taunggyi, Shan State) 2018年7月.
pp. 101-118.

口頭発表：

- ・「ビルマ民族団結史観の形成過程：パンロン会議を題材に」東南アジア学会第100回研究大会（東京大学）2018年12月2日.

博士後期課程 1年

太田 匡亮

口頭発表：

- ・「状語与中心語的的搭配傾向—以祈使句中“耐心”与動詞的搭配為例」第十届漢日对比語言学研討会（蘇州大学）2018年8月18日.

博士後期課程 1 年

長尾 麻由季

口頭発表：

- ・「過去に萎む身体、未来を孕む母体——Toni Morrison の God Help the Child」黒人研究学会第 64 回年次大会（東洋大学）2018 年 6 月 23 日.
- ・「「生まれざるもの」の可能性——Toni Morrison の Home における胚種のモチーフ」日本アメリカ文学会第 57 回全国大会（実践女子大学）2018 年 10 月 6 日.

博士後期課程 3 年

小野田 風子

論文：

- ・小野田風子「新生国家エリートへの孤独—タンザニアの作家 E・ケジラハビにおける「ワタン」」『ワタン（祖国）とは何か—中東現代文学における Watan/Homeland 表象』科学研究費補助金基盤研究 B（2015 - 2018）現代中東の「ワタン（祖国）」的心性をめぐる表象文化の発展的研究（代表：岡真理）成果報告書. 2019 年 3 月. pp. 98-116.

口頭発表：

- ・「ワタンの創生と喪失のはざま—タンザニアの作家 E・ケジラハビのテキストにみる新生国家エリートへの葛藤—」基盤研究（B）「現代中東における「ワタン（祖国）」的心性をめぐる表象文化の発展的研究」, シンポジウム「ワタンとは何か—現代中東における「ワタン（祖国）」表象をめぐる—」, 東京大学東洋文化研究所, 2018 年 6 月 9 日.

その他：

- ・「アフリカ諸語文学の深みと広がり—スワヒリ語の言語芸術を中心に—」東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所平成 30 年度ヨルバ言語語研修文化講演, 2018 年 8 月 24 日.

博士後期課程 3 年

石田 美香

論文：

- ・「国籍不問の陪審制度—アメリカ統治下の沖縄で成立した要因—」『アメリカ史研究』
(日本アメリカ史学会) 2018 年 8 月. pp. 52-68.

博士後期課程 3 年

川添 誠

論文：

- ・「ラファエル・アルベルティの『陸の船乗り』における時代への視線」『Estudios Hispánicos 43』(大阪大学外国語学部スペイン語部会) 2018 年 3 月. pp. 101-111.

博士後期課程 3 年

池田 有里

口頭発表：

- ・「高等学校で使用されているロシア語の教科書について」日本ロシア語教育研究会 西
日本地区 2018 年度第 1 回研究例会 (大阪大学豊中キャンパス) 2018 年 6 月 17 日.

博士後期課程 3 年

中山 大輝

口頭発表：

- ・「Suzan-Lori Parks の Topdog/Underdog における同族殺人と、人種的歴史の決定不可能性」
第 57 回日本アメリカ文学学会全国大会 (実践女子大学)、2018 年 10 月 6 日

博士後期課程 3 年

牧野 友香

論文：

- ・「ランバ語のテンス・アスペクト体系の再検討」『スワヒリ&アフリカ研究第 30 号』2019
年 3 月. pp. 14-32.

口頭発表：

- ・「ランバ語の TA 形態素 a-についての一考察」日本アフリカ学会第 55 回学術大会（北海道大学）2018 年 5 月 27 日.
- ・「ランバ語 (M54) の Anterior と属性叙述」日本言語学会第 156 回大会（東京大学）2018 年 6 月 23 日.
- ・‘Three ‘Anterior-like’ forms in Lamba’ 7th International Conference on Bantu Languages (University of Cape Town) 2018 年 7 月 10 日.
- ・“The distinction of three ‘Near Past’ forms in Lamba” The 9th World Congress of African Linguistics (Université de Mohammed V de Rabat) 2018 年 8 月 27 日.

<日本語・日本文化専攻>

博士前期課程

博士前期課程 1 年

YUAN XIN (エン キン)

口頭発表：

- ・「近代日本における『ストレス』概念の受容と展開」第 12 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム（香港理工大學）2018 年 12 月 9 日.
- ・「近代日本における女性の海水着の変遷—1910~40 年代を中心に—」第 34 回日本語日本文化教育研究会（大阪大学中之島センター）2019 年 3 月 9 日.

博士前期課程 1 年

久保 亜樹

論文：

- ・「補助動詞『テアル』の用法の分類—『書いてあった〜』の場合—」『阪大日本語教育学研究』第 10 号（大阪大学言語文化研究科筒井佐代研究室）2019 年 3 月 31 日.
- ・「2018 年度日本語・日本文化海外特別研修報告書—チューラーロンコーン大学・大阪大学大学院ワークショップ—」『日本語講座年報』第 16 号（大阪大学外国語学部外国語学科日本語専攻）2019 年 3 月 31 日.

口頭発表：

- ・「日本語学習者の多様性」STINT Workshop at Osaka University（大阪大学）2018年7月2日
- ・「タイにおける複言語・複文化ワークショップの実践の場の拡張—拡張による日本語教育現場の教師の気づきに注目して—」母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会2018年度研究大会（国際基督教大学）2018年8月9日。

博士前期課程1年

笹川 史絵

論文：

- ・「補助動詞「てくる」の導入案—「不快」であることを示す用法に着目して—」『阪大日本語教育学研究』第10号（大阪大学言語文化研究科筒井佐代研究室）2019年3月。
- ・「タイ国日本研究国際シンポジウム2018報告」『日本語講座年報2017-2018』（大阪大学外国語学部日本語専攻）2019年3月。

口頭発表：

- ・「間接受身文の使用実態—「文脈化」の観点から—」STINT Workshop at Osaka University（大阪大学箕面キャンパス）2018年7月10日。
- ・「日本語の会話における間接受身文の使用実態—自分の経験の語りに着目して—」タイ国日本語教育研究会 第31回年次セミナー（国際交流基金バンコク日本文化センター）2019年3月16日。
- ・「日本語の会話における間接受身文の使用実態—使いたくなる導入を目指して—」第52回日本語教育方法研究会（杏林大学井の頭キャンパス）2019年3月23日。

博士前期課程1年 茶園 直人

口頭発表：

- ・「天神信仰における撫牛の意味」国際日本語教育・日本研究シンポジウム（香港理工大学）2018年12月8日

博士前期課程 2 年

VRBOVSKY, Matej (ヴルボウスキー・マテイ)

論文：

- ・「日本語・スロバキア語におけるトキ節の対照的な分析―節順を決定する要因について―」『複数の体系から見た日本語研究ワークショップ報告論集 第 3 号』（大阪大学 中田一志研究室）2019 年 3 月. pp14-23.

口頭発表：

- ・「終助詞ゾの語用論的な考察：一発話行為論からみえてくるもの―」第 12 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム（香港理工大学）2018 年 12 月 9 日.

博士前期課程 2 年

パンクラートワ・スネジャーナ

報告書：

- ・パンクラートワ・スネジャーナ「日本で子育てをしている外国人保護者の家庭内言語教育方針―母語、母国語、英語、日本語教育への考え方―」【言語社会学会】報告要旨 学会誌 EX ORIENTE26 号 2019 年 3 月発行予定

論文：

(査読あり)

- ・PANKRATOVA SNEZHANNA「日本で子育てをしている外国人保護者の家庭内言語教育方針(Family Language Policy)に影響する決定要因」『間谷論集』(日本語日本文化教育研究会), 第 13 号 2019 年 3 月. 発行予定

口頭発表：

- ・PANKRATOVA SNEZHANNA「高学歴の外国人保護者のマルチリンガル教育への意識」『日本語教育学会九州・沖縄支部集会』2018 年度第 1 回支部集会（福岡女子大学）2018 年 6 月 30 日.
- ・パンクラートワ・スネジャーナ「日本で子育てをしている外国人保護者の家庭内言語教育方針―母語、母国語、英語、日本語教育への考え方―」【言社学会】秋季合同研究会（大阪大学）2018 年 10 月 27 日.

博士前期課程 2 年

中谷 真也

口頭発表：

- ・「ベトナム人技能実習生への日本語指導とその課題-大阪府下 A 社での事例をもとに-」
2017 年度受託研究報告会外国人技能実習生と日本語教育(大阪大学中之島センター) 2018
年 7 月 16 日.
- ・「Japanese Language Teaching for Vietnamese Technical Intern and its Result (ベトナム人技能
実習生への日本語指導とその課題)」 2nd Collaborative Research on a Topic from Applied
Linguistics and Japanese Language Education (マヒドン大学教養学部) 2018 年 8 月 28 日.

その他：

- ・「2018 年度日本語・日本文化海外特別研修報告書—マヒドン大学・大阪大学大学院生学
術交流会—」(共同執筆者：ペーケー・リサ)『日本語講座年報 2018-2019』大阪大学外
国語学部日本語専攻 2019 年 3 月(予定)
- ・摂津市国際交流協会日本語ボランティア養成講座(講演会講師)：入管法改正でどう変
わる? これからの日本語教育(第 1 回)「日本国内での外国人をとりまく環境変化」2019
年 2 月 12 日.
- ・摂津市国際交流協会日本語ボランティア養成講座(講演会講師)：入管法改正でどう変
わる? これからの日本語教育(第 2 回)「日本語の教え方講座～外国人労働者に日本語
を教えるために～」2019 年 2 月 19 日.

博士前期課程 2 年

平野 啓太

論文：

- ・「接尾辞「ぽい」「らしい」「くさい」の変化と構文スキーマ」『日本語・日本文化研
究 第 28 号』(大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻) 2018 年 12 月.
pp. 150-161.

口頭発表：

- ・「日本語の接尾辞における歴史的変化の方向性 — 「らしい」「ぼい」「くさい」「がち」「ぎみ」を対象に—」 第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム（香港理工大学）2018年12月9日.

博士後期課程

博士後期課程1年

KANJAMAPORNKUL SATHIDA（カンジャマーポンクン サティダー）

論文：

- ・ “การข้อนคำในบทสนทนาภาษาญี่ปุ่นกับการแสดงความรู้สึกของผู้พูด: กรณีศึกษาจากบทสนทนาในละครโทรทัศน์ญี่ปุ่น”, 『jsn Journal Special Edition Vol. 8, No. 3, 2018』 (The 12th Annual Conference of Japanese Studies Association in Thailand) 2018年12月29日 ※タイ語の論文
※英語の題目は、“Functions of Repetition as the Speaker’s Emotional Expression in Japanese Conversation : Based on the Japanese Television Drama Scenario”

口頭発表：

- ・ 「感情の表出の観点から見た繰り返し表現の機能—発話者による「意外感」を中心に—」 タイ国日本研究国際シンポジウム2018（チュラーロンコーン大学）2018年8月25日.
- ・ “การข้อนคำในบทสนทนาภาษาญี่ปุ่นกับการแสดงความรู้สึกของผู้พูด: กรณีศึกษาจากบทสนทนาในละครโทรทัศน์ญี่ปุ่น”, The 12th Annual Conference of Japanese Studies Association in Thailand (Nakorn Ratchasima Rajabhat University) 2018年11月29日 ※タイ語で発表した
※英語の題目は、“Functions of Repetition as the Speaker’s Emotional Expression in Japanese Conversation : Based on the Japanese Television Drama Scenario”
- ・ 「繰り返し表現における発話者の態度—「否定的態度」を中心に—」 第十二回国際日本語教育・日本研究シンポジウム（香港理工大学）2018年12月9日

博士後期課程1年

SUVANAKOOT PATCHARAPHAN

論文：

- ・スワンナケート パッチャラーパン、ラッタナポンピンヨー プラッチャヤポー 「トキ節の日タイ対照研究—語順およびアスペクトを中心に—」 『複数の体系から見た日本語研究ワークショップ報告論集』 3 (中田一志研究室) 2019年3月. pp. 1-13

口頭発表:

- ・「タイにおける中級文法の再検討—タイ人学習者話し言葉コーパスを用いて—」 第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム (香港・香港理工大學) 2018年12月8日.

博士後期課程1年

Toth, Evelin Adrienn (トート・エヴェリン・アドリエン)

論文:

口頭発表:

- ・「日本における蝦夷イメージの変遷—蝦夷の社会的な区分を中心に—」 第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム (香港理工大學) 2018年12月09日.

博士後期課程1年

エルハディディ・アブデルラフマーン

論文:

- ・「アラビア語を母語とする日本語学習者における自動詞・他動詞の選択について—アラビア語と日本語の書き言葉コーパスを用いて—」 『間谷論集第13号』 (印刷はまだ)
- ・「自動詞・他動詞の習得研究—学習者のレベルの上達と誤用の変化について—」 『タイ国日本研究国際シンポジウム2018』 論文報告書』 (印刷はまだ)

口頭発表:

- ・「自動詞・他動詞の習得研究—学習者のレベルの上達と誤用の変化について—」 タイ国日本研究国際シンポジウム2018 (チュラロンコン大学) 2018年8月25日.
- ・「アラビア語と日本語の書き言葉コーパスによる対のある自他動詞の習得研究—動詞の使用状況と出現頻度から—」 第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム (香港理工大学) 2018年12月9日.

博士後期課程 1 年

プリーチャーパンヤー・シャヤーポーン (PREECHAPANYA CHAYAPORN)

論文：

- ・「津島佑子が描く孤児—『ナラ・レポート』「0 ごくまともなはじまり」と「ナラ」を中心に—『日本研究論集』（チュラーロンコーン大学・大阪大学大学院研究交流会）2018年4月． pp. 35-50.

口頭発表：

- ・「『青鞥』における翻訳作品—当時の人々の反応を再考する—」第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム（香港理工大學）2018年12月8日．

博士後期課程 2 年

TURSUNOVA MAMLAKAT（トゥルスノヴァ・マムラカット）

論文：

- ・「日本語における否定極性表現（NPI）—「全然（ぜんぜん）」をとして—『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』（第3回年国際シンポジウム起票 ベトナムハノイ大学）2018年10月． pp. 60-68.

口頭発表：

- ・「日本語の明示的な否定と非明示的な否定における否定極性表現」第32回 日本語日本文化教育研究会（大阪大学日本語日本文化教育センター）2018年6月30日．

博士後期課程 2 年

米澤 千昌

論文：

- ・「複数の言語文化環境で育つ子どもの学びを育む支援環境の構築を目指したアクション・リサーチ—大阪府公立小学校の日本語支援教室での実践より—」『神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会紀要第4号』（神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会）2019年3月．（印刷中）

口頭発表：

- ・「外国ルーツの子どもへの持続可能な母語継承語教育の方法を探る：母語教師がいない環境下での母語継承語教室の実践より」日本言語政策学会第20回記念研究大会（早稲田大学）2018年6月17日（共同発表）。
- ・「複言語環境で育つ子どもの「学び」へとつなげることばの支援に関する一考察—大阪府公立小学校の日本語支援教室での実践から—」ヴェネツィア日本語教育国際研究大会（Ca' Foscari University of Venice、イタリア）2018年8月4日。
- ・「家庭での母語継承語教育を促進する親子スペイン語教室の実践—家庭での取り組みの変化とその要因に着目して—」、母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会2018年度研究大会（国際基督教大学）2018年8月9日（共同発表）。

その他：

- ・公益財団法人博報児童教育振興会第13回児童教育実践についての研究助成（助成期間：2018年4月1日～2019年3月31日、助成金額：1,649,680円）

博士後期課程3年

RATTANAPONGPINYO PRATYAPORN

論文：（共著）

- ・スワンナコート パッチャラーパン、ラッタナポンピンヨ プラッチャヤポーン「トキ節の日タイ対照研究—語順およびアスペクトを中心に—」『複数の体系から見た日本語研究ワークショップ報告論集』3（中田一志研究室）2019年3月。pp.1-13.

口頭発表：

- ・「『ハズダ』と『naaca』—現代ドラマや小説に現れる表現の考察—」タイ国日本研究国際シンポジウム2018（タイ・チュラーロンコーン大学）2017年8月25日。
- ・「日本語とタイ語の認識的モダリティ形式に関する研究—教科書の例文と現代ドラマや小説に現れる『ダロウ』—」第12回国際日本語教育・日本研究シンポジウム（香港・香港理工大學）2018年12月8日。

博士後期課程3年

THU THU NWE AYE (トゥ トゥ ヌェ エー)

論文：

- ・「日本語における有形と無形の格助詞の交替現象—対照言語学からのアプローチ—」『日本研究論集』第17号、チュラーロンコーン大学・大阪大学、2018年4月、pp.89-103.

口頭発表：

- ・「ミャンマーにおける技能実習生の現状」2017年度受託研究報告会、外国人技能実習制度と日本語教育(大阪大学中之島センター)2018年7月16日.
- ・「日本語とビルマ語における格助詞交替の再考—格助詞ととりたて助詞—」, タイ国日本研究国際シンポジウム2018(チュラーロンコーン大学, タイ)2018年8月25日.
- ・「日本で子育てをする国際結婚家庭における親の教育姿勢とその影響—ミャンマー人母親二人の事例比較—」2018年度大阪YWCA日本語教師会主催セミナー(大阪YWCA専門学校)2018年9月28日. 共同発表者：真嶋潤子
- ・「japaN_ba_Da_hniN. myama_ba_Da_hnou' pyO:zaga:ysi. nau' shE' pyi' si:mya;hniN. ale:pe:pyi' si:mya:go_ hnaiN:ysiN_ le.la_jiN:(日本語とビルマ語口語における格助詞ととりたて助詞の対照) (ヤンゴン大学、ミャンマー) 2019年3月12日.

博士後期課程3年

POONVONGPRASERT THANIT

論文：

- ・「気づきにくい学習者／母語話者間のミスコミュニケーション—V-テミルと韓国語 V-boda, タイ語 lɔŋ -V- duu , クメール語 sa:k -V- mə:l との対照を通じて—」『社会言語科学会 第42回大会発表論文集』2018年9月. pp. 49-52. (共著：金谷由美子, POONVONGPRASERT Thanit, BANGSAEN Pichamon, KUY Siemkiang)
- ・「手伝うことの依頼に対する「断り」の日タイ対照研究—同等の相手からの重い依頼の場面の分析—」『日本語・日本語文化研究』(第28号大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻) 2018年12月. pp. 122-132.

口頭発表：

- ・「気づきにくい学習者／母語話者間のミスコミュニケーション—V-テミルと韓国語 V-boda, タイ語 lɔŋ -V- duu , クメール語 sa:k -V- mə:l との対照を通じて—」社会言語科学会第42回大会 広島大学 2018年9月22-23日.

- ・「手伝ことの依頼に対する断りの日タイ対照研究—理由説明の述べ方の観点から—」第12回国際日本語及び日本研究シンポジウム 香港理工大学 2018年12月8-9日.

その他：

- ・社会言語科学会第42回大会 【研究大会発表賞第19回】受賞 (2018年11月7日公示)

博士後期課程3年

伊澤 明香

論文：

- ・「ブラジルの日系人の子どもたちの二言語作文に関する一考察 —産出量に着目して—」『日本語教育学会 2018(平成30)年度 春季大会 予稿集』 (日本語教育学会) 2018年5月. pp36-42.

口頭発表：

- ・「DLA を使ったブラジル継承語話者の子どもの作文データ分析」母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会 2018 年度研究大会 アセスメント部会 (国際基督教大学) 2018年8月8日.
- ・「ブラジルの日系人の子どもたちの二言語作文に関する一考察 —産出量に着目して—」日本語教育学会 2018(平成30)年度 春季大会 (東京外国語大学) 2018年5月27日.

博士後期課程3年

金 吉任

口頭発表：

- ・金吉任「話者の意図性からみた文末のカラ」国際日本語教育・日本研究シンポジウム第12回 (香港理工大学) 2018年12月8日.

博士後期課程3年

香月 裕介

論文：

- ・「「クラス」と「個」のあいだで生まれる実践—日本語教師の語りの現象学的分析」『神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会紀要』第4号（神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学会） 2019年3月. pp.29-43.

口頭発表：

- ・「意識化されない教師の実践知を意識するために—省察的実践における現象学的研究の意義—」言語文化教育研究会第5回研究集会（東京医科歯科大学）2018年6月17日.
- ・「クラスにおける日本語教師の実践」臨床実践の現象学会第103回研究会（大阪大学）2018年7月1日.
- ・「日本語学校で働く日本語教師の実践」臨床実践の現象学会第107回研究会（大阪医科大学）2018年12月1日.
- ・「実践における教師の立ち位置は何によって規定されるのか—日本語教師の語りの現象学的分析—」言語文化教育研究会第5回年次大会（早稲田大学）2019年3月9日.

博士後期課程3年

千々岩 宏晃

論文：

- ・「不可能への言及：記憶の心的述語の記述的検討」『日本語・日本文化研究』28号（大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻）2018年12月. pp.94-105
- ・「想起の心的述語「覚えてる？」の記述的検討」『間谷論集』13号（日本語日本文化教育研究会）2019年3月. (in printing)

口頭発表：

- ・「雑談データの分析からみた記憶概念と他概念との結びつき」言語・音声理解と対話処理研究会 85(京都大学), 2019年03月07日

その他：

- ・卒業論文などのための研究ノート作りを試してみる会(2018年7月10日：大阪大学附属外国学図書館 ラーニングサポーターによる講習会)
- ・研究テーマの探し方（言語・教育篇）(汪聞君氏との共同) (2018年10月22日：大阪大学附属外国学図書館 ラーニングサポーターによる講習会)

- ・言語資料のための効率的な文字起こし 101(2018年12月4日：大阪大学附属外国学図書館
ラーニングサポーターによる講習会)

博士後期課程3年

CHEN DONGSHU

論文：

- ・「なぜ日本語の受身文は中国語より多く使われるのか-中日対訳の話し言葉に注目して-」
『間谷論集第13号』（日本語日本文化教育研究会）2019年3月．刊行予定
- ・「日本語の受身文と中国語の“被”構文の意味機能と談話機能-テレビドラマの話し言葉
を対象に-」『日本語・日本文化研究第28号』（大阪大学大学院言語文化研究科） 2018
年12月． pp. 106-117

口頭発表：

- ・「汉语“被”字句与日语「～てしまう」的关联性-以主观情感表达为中心」日本中国語学
会 第68回（神戸市外国語大学）2018年11月4日．
- ・「テレビドラマにおける日中受身文の談話機能と意味機能」第十届汉日对比语言学研讨
会（蘇州大学）2018年8月18日．

博士後期課程3年

李 墨彤

口頭発表：

- ・「首都圏方言話者による架空外来語のアクセント型の生成及び自然度評価」日本音声学
会第338回研究例会（宇都宮共和大学）2018年12月1日．